

2004
06.01

Vol.62



社団法人日本建築家協会
The Japan Institute of Architects

NAGANO

<http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>

-KEN CLUB

JIA 長野県クラブ

『新しい微風』を追い風にして



会長 高橋 重徳

この度、松下前会長の後任として会長指名を頂き、非力ですが重責を担わせて頂くことになりました。

どうか皆様のご指導、ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

さて、建設業界の状況は、回復傾向の経済状況とは程遠く、構造的な変革を強く求められています。

この様な社会的背景から、生き残りをかけて日増しにサバイバル的要素が強まると思われます。

私達は今、生まれ変わる前の正念場を迎えているといつても過言ではないでしょう。

今期よりJIA活動の中心的役割が地域会へ移行され、具体的な成果を得ることが重要になります。

従って、自らの社会的存在価値が試される状況になるでしょう。特にCPD制度は、一層の推進と充実を図り、他会との連携を視野に入れて、より有効的な制度の運用に努力して参ります。また、昨年から試行スタートした登録建築家制度の『登録建築家』が全国で1,069名（県内10名）誕生し、資格制度改革の第一歩を踏み出しております。長野県クラブの全員登録を目指しましょう。

この二つの制度を重点的に運用するため『職能委員会』を設け、推進に向けて体制を整えました。是非両制度を活用することで、皆さんの資質と能力を担保し、その成果が社会に認知される努力をしようではありませんか。また、設計者選定問題に対しては「公共施設の設計者選定の制度改革」をより良い制度へ発展させる為に、積極的に協力し、取り組みたいと考えております。

私達の職能や会の活動を社会に向けて発信し、理解を得るための一環として『一愛と情熱の家づくりー第3集』の発刊を目指したいと考えています。

こうした活動を通じて、私達の努力は少しずつであっても明るい兆しを含んでいると考えるべきでしょう。

変化の中で『新しい微風』を追い風に感じることができるるのは私だけでしょうか。皆さんより一層の主体的な事業運営への参加と取り組みをお願いしたいと思います。



新役員紹介

「楽しく！」をモットーに 副会長 赤羽 吉人

私達建築設計を営む者にとって、社会が要求するプロとしての職責は日増しに厳しいものになりつつあると思います。私達はその付託に答えるべく日常のたゆみない努力と研鑽を積んでいかなければならぬと強く感じます。その職能意識を共有できる仲間こそが建築家協会のメンバーであり、会員が互いに切磋琢磨して向上するための場を共有するのが会の役目だと思います。微力ではありますが、精一杯つとめます。楽しくやりましょう。



気持ちを伝えたい 副会長 西沢 利一

いきなり、私事で恐縮ですが、先月娘が嫁いだ。最初は、息子が増えたような気でいたが、近頃段々腹が立ってきた。「23年間ありがとう」の文字が滲んだ。何も力がはいらない。宴席で流れていた、「平原綾香」や「サラ・ブライトマン」のCDを持ち出して聞いていると、また滲んだ。仕事も身が入らず、仲間に電話して酒を飲んだが、深酒しそうで、体調を崩した。気持(心)が全てを動かしている事を、あらためて感じてはいるが…。そうだ！これから抱負を書かなければ…。私は気持を伝える役目、「おーい」と呼びかけると、「こだま」となってかえってくるんだから！



梅雨のあめ

副会長 久保 隆夫

ご承知の通り、当クラブは本年度改選され新しい組織で動き出しました。従前からのCPD活動の充実と、それを基盤とした「登録建築家制度」の具体化、設計者選定問題への提言…等が重点課題とされます。いづれの課題も我々同志、内側だけでは克服できず、外側(社会)が望む価値をいかに共有できるか…。例えばうつとうしい梅雨の雨が日本国有の自然にとっては、不可欠な価値がある様に、私たち同志だけで、『建築家化』することは何の意味も持たないのです。



新たな船出

副会長 川上 恵一

高橋新体制の中、一人くらい騒がしい問題児がいた方が良いとのことで副会長を命ぜられました。他の役員は皆はまり役の大元達で心配は不要ですが、私の選択だけが唯一の失政でしょう。ともあれ、会長が考えられたそれぞれの事業計画に添ってこなしていかなくてはなりません。長野県クラブでは事業委員会とまちづくり委員会の担当になりました。関東甲信越支部では依田さんに代わって保存問題委員です。各委員長以下のメンバーがしっかりとしているのが救いですが前途多難な船出です。



通常総会・記念シンポジウムに参加して

久保田 正博



5月12日に「ホテル国際21」において2004年度通常総会が開かれました。

大宇根会長はじめ松原関東甲信越支部長、宮本建築士会連合会会長にご臨席いただき、地方の総会としては画期的な顔ぶれとなりました。役員改選により新年度から高橋重徳さんが会長となられ、4名の新副会長のもと、多くの会員の参加により活力あるクラブ運営が期待されます。

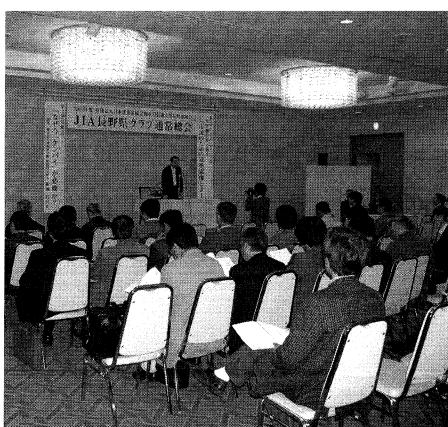
会場には卒業設計コンクール各1位の作品が展示され、続いてその表彰式が行われました。記念シンポジウム第1部は「大宇根会長と語る・市民のための建築家像とJIA」で、新役員がパネラーに加わり、建築家のスタンスを述べされました。JIAが市民のために一定の倫理や知識、技術、判断力等を持った建築家の集団である為に、建築家登録とCPDの重要性を痛感しました。第2部は『なぜ今「ケンハイ」が必要か？』と題して、建築家会館の権瓶荘兵支配人に依る勉強会があり、最近の多くの事故例からその必要性を感じました。



新役員の紹介



大宇根会長 シンポジウムにて



総会

長野県学生卒業設計コンクール2004

2004年5月12日、長野市内のホテル国際21に於いて「長野県学生卒業設計コンクール」の表彰式が行われました。

今回も公開審査によるコンクールを実施、表彰式では入賞者に賞状と記念品が贈られました。

長野県学生卒業設計コンクール2004 審査講評

審査委員長 宮本 忠長

高校、専門学校、信州大学と3部門の参加をみて、審査対象作品は多彩であった。

前回からの試みで、作者が、それぞれ自作をプレゼンテーションするので、審査員側としても短時間に作品に対する考え方方が伝わってきて、有意義でもあった。もう一つの効用は、作者が、自作を第三者に正確に理解させることも重要なことであるので、若いうちから練習できる。これは、双方にとってプラス。プレゼンの要領は、美辞麗句を並べる表現の格好よさよりも、本人の発想の心底に流れるイメージ、理想を忠実に語って欲しいのである。

今回、特に目立った事は、高校によりあまりにも設計創作に対する価値観が異なることだ。一概に高校格差ということではなく、設計創作に対する価値格差とも言うべきか。

その中にあって、飯田長姫高校は抜群であった。さらに、前途に向けて飛躍して欲しい。専門学校生の力作も良かった。独創性に富み、自由大胆、かつ、美しい線画で創るインテリアデザイン、身近な空間に親密なムードを創生したものなどなど、秀作が揃った。それに対し、信州大学は意外と低調に見えた。一つには、創作時間が余りにも少ない故か、中味が軽い。無論、金賞作は、キラリと光って優作であった。設計とは、エスキス（仏語：スケッチ、下絵の意）の基本を練り上げる時間、トコトン追求して欲しい。空間の「貫」と「素形」に尽きるのだから。

来年も、審査員を感動させるような作品を期待して止まない。今回、審査にあたり、建築創造の無限性にお互いに年齢の枠を超えて、いろいろと考えさせられるのであった。

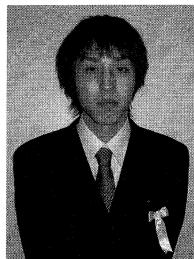
コンクール審査委員名（敬称略）

・委員長 宮本忠長 ・委員 須田孝雄、松下重雄、上村保弘、児野 登、赤羽吉人、久保隆夫 ・新潟クラブ 上山 寛 ・群馬クラブ 米田雅夫、石川純男

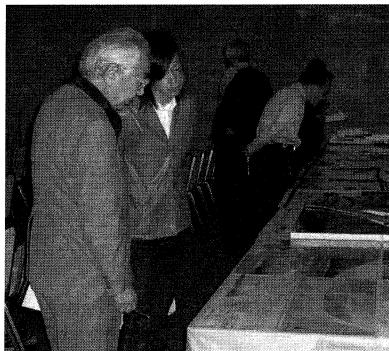
大学の部

●入賞作品

賞	氏名	学校名	作品名
金	森 一広	信州大学 工学部 社会開発工学科	KIJIMA BUTAI
銀	中村 和弘	信州大学 工学部 社会開発工学科	流れ・交わり・溶け込む
銅	渡辺 英明	信州大学 工学部 社会開発工学科	SELF ESTABLISHMENT



森 一広さん
信州大学 工学部
社会開発工学科



専門学校の部

●入賞作品

賞	氏名	学校名	作品名
金	清水亜矢子	国際コンピュータービジネス 専門学校 建築CAD学科	SHADE OF A TREE
銀	北澤江里香	国際コンピュータービジネス 専門学校 建築CAD学科	団らん「ぬくもりのある生活」
	上野 尚美		
	神尾 友子		
銅	筒井 智子	国際コンピュータービジネス 専門学校 建築CAD学科	PLEASE SIT DOWN
特別	坂口 智一	上田情報ビジネス専門学校 建築CAD科	千曲の輪



高校の部

●入賞作品

賞	氏名	学校名	作品名
金	滝沢 碧	飯田長姫高等学校 建築科	教会
銀	串原 明子	飯田長姫高等学校 建築科	お兄さん・お姉さんと遊ぶ保育園
銅	小椋 明	飯田長姫高等学校 建築科	光と風の美容PARK
銅	山崎 みほ	長野工業高校 建築科	ロックウェル美術館



審査会の様子

2004年度 事業計画

<新年度の委員会構成>

- ・総務委員会
- ・広報委員会
- ・職能委員会
- ・会員委員会
- ・事業委員会
- ・まちづくり委員会

<重点計画>

- 「登録建築家」の認定登録推進と啓蒙を図る。
- CPDの推進と充実を図り、関連他団体との積極的な連携を目指す。
- 良い公共建築をつくるための設計者選定問題については、本部・支部の指導と協力を得て、県をはじめ行政との実務レベルでの対話などに積極的に取り組む。
- ホームページ・会報・クラブニュースの充実と情報発信の効率化を目指すと共に、社会への効果的なアピールを図る。
- 地域産木材振興の取り組みを含めた「愛と情熱の家づくり」第3集の発刊を目指す。
- 講演会、シンポジウム、あすなろ建築展、まちづくり勉強会、学生卒業設計コンクールなどを通じて、社会に対する公開性を高めるための努力を積極的に図る。
- 会員増強の推進と会員に対するサポートを多面的に図り、魅力的で充実した組織づくりを目指す。

<主なイベントの予定>

- 7月 まちづくり勉強会（12月、3月）
9月 あすなろ見学会
10月 建築家大会2004東京（10/13～10/17）
11月 会員の作品発表会（あすなろ建築展）
3月 文化講演会、シンポジウム
3月 学生卒業設計コンクール
3月 「愛と情熱の家づくり 第3集」出版

「登録建築家」認定について－認定結果(2003年度)

全国で1,069名、長野県内では10名が登録建築家認定を受けました。JIA本部のホームページにおいて情報が公開されています。

次回の認定評議会への申請締切りは、8月になる見通しです。県クラブ会員は是非申請手続きをお願い致します。

県営住宅設計プロポーザル －応募受付はじまる(2物件)

- 別所団地（上田市） ●高瀬団地（池田町）

※応募要項は、長野県のホームページに掲載されています。

トップページから『プロポーザル+（団地名）』で検索してください。

※会員はふるってご応募ください。

会員情報

■6月現在

正会員……68名

賛助会員…66社

※新入会員、募集中！

■8／6（金）に決定。

- ・本音で語ろう会
- ・技術交流会
- ・建築家賠償責任保険の研修会
- ・納涼会

(ホテル国際21にて)

委員長 林 隆

広報委員会より

今年度から、会報の企画・発行を担当させていただくことになりました。

この会報は500部作成し、会員・賛助会員に約200部、官公庁・学校などに300部をお届けしています。今年度も①会報、②クラブニュース、③ホームページを通じて、社会に対して、そして会員に対して、日本建築家協会（JIA）のこと・登録建築家のこと・各イベントの案内などを、積極的に情報発信していきたいと思います。また、会員の作品発表会（あすなろ建築展）や来年3月に予定している「愛と情熱の家づくり 第3集」出版発表の際には、一般の人に広く知っていただける効果的なPR方法を考えていきたいと思います。

この会報は、気軽に考えを発表できる場でありたいとも考えますので、ぜひ皆様からの投稿をお待ちしております。また原稿依頼がありましたら、よろしくお願い致します。

JIA長野県クラブの出版物ご案内

あなたの夢を建築家が実現します!!

信州で「家づくり」に

情熱を傾ける建築家を一挙紹介!!

「設計を建築家に頼みたいが、敷居が高い…」とお考えのあなたに、建築家一人一人の「仕事」を写真と文章でご紹介。

家づくりの最良のパートナーに出会える一冊です。
(第3集出版計画中)

・既刊本「愛と情熱の家づくり」定価¥1,429
・既刊本「建築家とつくる家」定価¥1,429

お問い合わせ・お求め

JIA長野県クラブ 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内 TEL:026-232-3897



編集後記

2004年度JIA長野県クラブの委員会構成が決まり、広報委員会の正副委員会が行われた。

その中でこの会報が会員以外に行政や建築系の学校にも配布され、多くの方に読まれていることを知った。

建築同様、文章の中に物づくりの姿勢が伺え、私自身勉強になっている。

賛助会員も含め、たくさんの方に参加いただき、読者だけでは終わらない、会報になればと思った。

藤松 幹雄

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。